

歴代会長

初代 堀野 良之助
 二代 田原 常武
 三代 鈴木 耕一
 四代 福山 熊雄

五代 堀野 良之助
 六代 板倉 政治
 七代 堀野 清
 八代 石井 茂巳

九代 林 四男末
 十代 堀野 雅章
 十一代 堀野 直一

町会の沿革

江原町町会の区域は、中野区の北部に位置し、東西に走る目白通りを南北に挟み、都営地下鉄12号線（大江戸線）の新江古田駅があります。駅前周辺を除いては大きな商店街もなく、緑に囲まれた閑静な住宅地です。区域内には、区立江原公園や区立の江原小学校、第七中学校の一部学区域を含んでいます。昭和2年2月に、江古田不動尊で近代的な町会組織を目指した「江和会」が創設されました。この組織が母体となり、現在に引き継がれてきました。この間、町名変更などで紆余曲折がありましたが、昭和55年6月に、「江原町町会」の名称になりました。

会の目的は、会員相互の親睦を図り、住み良い地域社会の維持および形成にあります。会員の世帯数は、1,300余（平成28年4月）を有し、会長をはじめ25人の役員が会の組織および事業の運営に鋭意努力をつくしています。

町会の活動

主な事業としては、3月の餅つき大会、7月の納涼盆踊り大会、9月の敬老祝品の配付、11月の日帰りバス旅行です。また、防犯部、防災部、交通部、青少年部、女性部、庶務部のそれぞれが事業展開を図っています。

この他に、区（防災・清掃など）、学校、消防、警察などの行政機関と連携・協働し住民の安全・安心につながる事業を実施しています。さらに、地元のボランティア団体、青少年団体、福祉団体などと幅広い協力関係を築いています。

しかし、近年の加入者の停滞と減少が顕在化してきていることに加え、役員の高齢化による事業の円滑な実施とそれを維持していくことの難しさが表面化しつつあります。平成28年5月に、会則を見直し、現状に合わせる形で、規模の適正化と組織の効率化を図りました。しかし、どのようにして会員や役員を増やしていくのか、日々模索しているところです。今後とも、地元の祭りや各種イベントなど、ふれあい事業を通して人と人とを結び、地域で支え合えるネットワークの構築ができればと、思っています。

毎年7月の夏休み直後の土・日の両日、区立江原公園で“納涼盆踊り”が催されます。そこに集う、老若男女が一つの輪をつくり、夏の夜のひとときを楽しみます。

